

秋 田 県 景 気 動 向 指 数

第16循環景気基準日付の確定について

★秋田県の景気基準日付（第16循環・確定）

景気の山 平成30年10月

景気の谷 令和2年8月

1 景気基準日付について

景気基準日付とは、景気の拡張局面と後退局面を分ける景気転換点（山・谷）の日付のことで、景気循環の局面判断等を行う際に、重要な意味合いを持っています。

国の第16循環に相当する秋田県の景気基準日付は、暫定的に、景気の山を平成30年9月、景気の谷を令和2年8月に設定していましたが、今般、景気基準日付を確定しました。

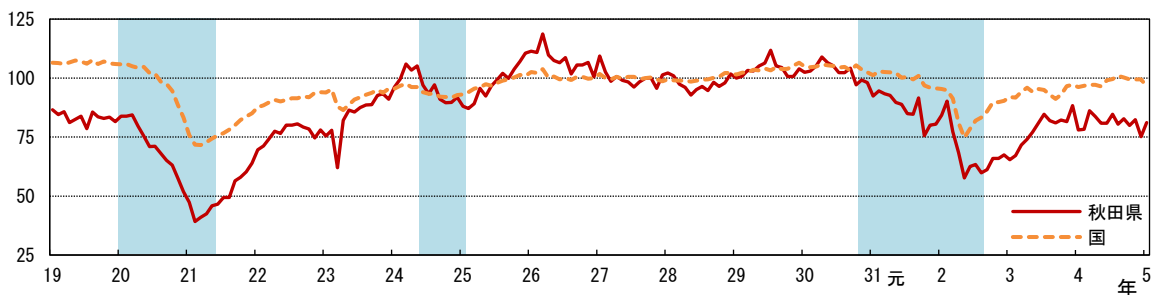
確定後の景気の山は平成30年10月、谷は令和2年8月となり、国と比較すると谷が3か月遅くなりました。また、景気の谷から山への景気拡張局面は69か月、山から谷への景気後退局面は22か月で、谷から谷までの全循環は91か月となりました（表1）。全循環は、秋田県が景気基準日付を設定している昭和45年以降、最も長いものとなりました。

なお、確定後のC I一致指数の動きをグラフにすると、図1のようになります。

表1 第16循環の国との比較

	第15循環	第16循環		期間(第16循環)		
	谷	山	谷	拡張	後退	全循環
秋田県	H25年1月	H30年10月	R2年8月	69か月	22か月	91か月
国	H24年11月	H30年10月	R2年5月	71か月	19か月	90か月
差	+2	±0	+3	-2	+3	+1

図1 C I（コンポジット・インデックス）一致指数の動き（平成27年=100）



※C I：主として景気変動の大きさやテンポ(量感)を測定するための指標で、景気に対し先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3指数があります。

※シャドウ部分は秋田県の景気後退局面です。

2 景気基準日付の設定方法について

CI一致指数の計算に用いる9系列について、指標ごとに循環変動の転換点（山・谷）を設定し、山の翌月から谷までを全てマイナスに、谷の翌月から山までを全てプラスとします。次に、各月ごとにヒストリカルDI（拡張（プラス）系列数を採用系列数で除した値）を作成します（表2）。

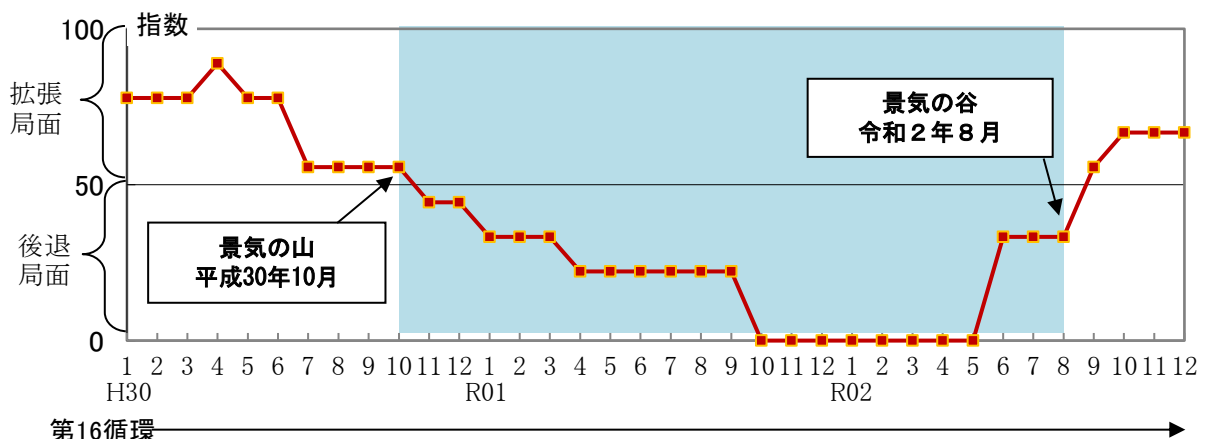
ヒストリカルDIが50%を上方から下降へ切る直前の月を景気の高、下方から上方へ切る直前の月を景気の谷と設定します。

表2 ヒストリカルDI

系列名	平成30年(2018年)			平成31年/令和元年(2019年)								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 有効求人倍率	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 雇用保険受給者実人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 鉱工業生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 生産財生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 百貨店・スーパー販売額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 新車販売台数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
7 投資財生産指数	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 建築着工床面積（非居住用）	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
9 秋田空港利用者数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列数 a	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2
採用系列数 b	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
ヒストリカルDI a/b	55.6	44.4	44.4	33.3	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2

系列名	令和元年(2019年)			令和2年(2020年)								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 有効求人倍率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
2 雇用保険受給者実人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 鉱工業生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 生産財生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
5 百貨店・スーパー販売額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 新車販売台数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 投資財生産指数	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
8 建築着工床面積（非居住用）	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
9 秋田空港利用者数	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
拡張系列数 a	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	5
採用系列数 b	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
ヒストリカルDI a/b	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3

図2 ヒストリカルDIのグラフ（第16循環）



※シャドー部分は景気後退局面です。

表3 過去の景気基準日付

		谷	山	谷	期間		
					拡張	後退	全循環
第7循環	県	S46年6月	S48年11月	S50年6月	29か月	19か月	48か月
	国	S46年12月	S48年11月	S50年3月	23か月	16か月	39か月
	差(月)	-6	±0	+3	+6	+3	+9
第8循環	県	S50年6月	S51年8月	S53年1月	14か月	17か月	31か月
	国	S50年3月	S52年1月	S52年10月	22か月	9か月	31か月
	差(月)	+3	-5	+3	-8	+8	±0
第9循環	県	S53年1月	S54年10月	S58年7月	21か月	45か月	66か月
	国	S52年10月	S55年2月	S58年2月	28か月	36か月	64か月
	差(月)	+3	-4	+5	-7	+9	+2
第10循環	県	S58年7月	S60年3月	S62年2月	20か月	23か月	43か月
	国	S58年2月	S60年6月	S61年11月	28か月	17か月	45か月
	差(月)	+5	-3	+3	-8	+6	-2
第11循環	県	S62年2月	H3年4月	H6年2月	50か月	34か月	84か月
	国	S61年11月	H3年2月	H5年10月	51か月	32か月	83か月
	差(月)	+3	+2	+4	-1	+2	+1
第12循環	県	H6年2月	H9年3月	H10年12月	37か月	21か月	58か月
	国	H5年10月	H9年5月	H11年1月	43か月	20か月	63か月
	差(月)	+4	-2	-1	-6	+1	-5
第13循環	県	H10年12月	H13年2月	H14年2月	26か月	12か月	38か月
	国	H11年1月	H12年11月	H14年1月	22か月	14か月	36か月
	差(月)	-1	+3	+1	+4	-2	+2
第14循環	県	H14年2月	H20年1月	H21年5月	71か月	16か月	87か月
	国	H14年1月	H20年2月	H21年3月	73か月	13か月	86か月
	差(月)	+1	-1	+2	-2	+3	+1
第15循環	県	H21年5月	H24年5月	H25年1月	36か月	8か月	44か月
	国	H21年3月	H24年3月	H24年11月	36か月	8か月	44か月
	差(月)	+2	+2	+2	±0	±0	±0
第16循環	県	H25年1月	H30年10月	R2年8月	69か月	22か月	91か月
	国	H24年11月	H30年10月	R2年5月	71か月	19か月	90か月
	差(月)	+2	±0	+3	-2	+3	+1

問い合わせ先

〒010-8570
 秋田市山王4丁目1-1
 秋田県企画振興部 調査統計課 調整・解析チーム
 電話 018-860-1254
 FAX 018-860-1252
 E-mail kaiseki@mail2.pref.akita.jp

美の国あきたネットや秋田県オープンデータカタログサイト内で
 「秋田県景気動向指数」等の統計資料をご覧になれます。
 <美の国URL><https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/tokei/>
 <オープンデータURL><https://opendata.pref.akita.lg.jp/>